



平均世帯 会津美里町は3人ほどで暮らす世帯が多く、家族などと生活する住民が多いようです。1世帯に2〜3台の自動車があり、主な移動手段となります。

賃貸住宅の目安


 ゴキブリもいないよ！
 1LDK: 5.5万円/月
 水道料金(税込): 3,600円/月
 下水道料金(税込): 4,400円/月
 電気料金: 5,000円/月
 LPガス料金: 10,000円/月
 ※冬期間は少し上がります

車は必需品です！
でも道路渋滞は
マジでない(笑)

※ 1ヵ月当たりの水道使用量を 15 m³とした場合

テレワーク、
コワーキング施設を
紹介します。

場所を選ばない働き方
サテライトオフィス
FDS 本郷

一般社団法人FDSが運営するテレワーク施設です。森林資源の豊かな会津美里町において循環型の社会を目指し、本格的な地域材の利活用に取組んだ施設となっています。

交通手段

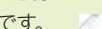
県内外への遠距離移動に便利な磐越自動車道の出入口「新鶴スマートIC」があります。町内外への公共交通手段としてJR只見線、路線バス、乗合型「美里あいあいタクシー」がありますが、町内の移動には「美里あいあいタクシー」の利用が便利です。

◎JR只見線〔本町所在駅：会津本郷・会津高田・根岸・新鶴〕
通勤・通学の時間帯を中心に、1日7往復運行しています。

◎路線バス
会津若松駅～高田線及び本郷線は1時間に1本(通勤・通学時間帯は1時間に2～3本)
会津若松駅～新鶴線は1日3往復運行しています。

◎美里あいあいタクシー ※要予約

市内へ進行する乗合型タクシー。年末年始を除き毎日運行しており、
 高齢の方や車を運転しない方の移動手段として好評です。
 利用日の1週間前から「まってらん処 ☎0242-55-0330」
 または予約専用アプリ「のーと」よりご予約いただけます。
 利用券は「まってらん処」、その他取扱店にて400円、
 車内での購入、アプリ内決済の場合は500円です。



買い物物

医療機関

通信
インフラ

下水道
整備

ごみ
収集

町内には商店街やスーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストアがあり、食料品や日用品を購入できます。また、農産物直売所もあり、季節ごとの新鮮な野菜や果物、加工食品などを買うこともできます。

町内には病院や内科系の診療所が複数あり、軽い症状であれば町内の医療機関で済ませることができます。また、歯科医院も5カ所あります。

救急の場合でも町の中心地に会津美里消防署がありますので、救急受け入れ先(会津若松市)まで20分ほどで行くことができます。

ネット環境は町全体に光回線が敷かれています。また、携帯電話の電波も人が住む地域ではほぼ繋がります。

※一部機種によって高速通信用電波(LTEなど)が入らない地域もあります。

上下水道は町内ほとんどの区域で提供されていますが、一部未供用区域もありますので、詳細については建設水道課（☎55-1181）までお問い合わせください。

家庭ごみについては分別収集を行っています。地区によって収集日等が異なりますので、ご注意ください。くわしくは、「家庭ごみ・資源物の分け方・出し方」をご覧ください。

問合わせ ○ 町民税務課 生活環境係 ☎55-1166

「情」 会津美里町移住・定住サイト <https://misato-iju.jp/>

会津美里町公式サイト <https://www.town.aizumisato.fukushima.jp>

観光ポータルサイト <http://misatono.jp/>

福島県移住ポータルサイトふくしまぐらし <https://fukushima-iju.jp>

お問い合わせ
会津美里町
TEL 0242-23

会津美里町 にぎわい創造課 交流推進係 〒969-6292 福島県大沼郡会津美里町字新布才地1番地
TEL 0242-23-7250 FAX 0242-55-1199 sangyo@town.aizumisato.fukushima.jp


 オンライン相談も受け付けております！
 お気軽ににご相談ください

一般社団法人 TORCH
 0242-93-6085
 info@3torch.work

Instagram misato iju   Instagramにて会津美里町の「暮らし」を発信しています！

福島県 会津美里町 移住ガイド

美しい

四季の中で

ゆったりと。

春
3～5月

- 3 春分の日 西勝の彼岸獅子
- 4 29 太々神楽・花祝祭
- 5 最終回 向羽黒山城まつり・ふれあい茶会

桜と花々 町内各所で桜が咲き誇り、開花時期には花見スポットが賑わいます。
息 吹 冬の寒さから解放され、自然が一気に芽吹く季節です。
寒暖差 日中は暖かい日が増えますが、朝晩は冷え込むことがあります。

夏
6～8月

- 6 中旬 会津本郷せと市
中旬～下旬 あやめ祭り
- 7 12 御田植祭
19 高橋の虫送り

豊かな緑 田畑が青々とした緑に覆われ、美しい景観が広がります。
盆地の暑さ 日本海側気候の影響で夏は蒸し暑く、最高気温が高くなる日も。
イベント 地元の祭りやイベントがあちこちで開催され、まちがにぎわいをみせます。

秋
9～11月

- 9 1～17 伊佐須美神社例大祭
第3回月 秋季祭礼
- 10 中～下旬 ワインフェス
27～11/5 法用寺奉納菊花展
- 11 1～10 中田観音菊祭り大祭

実りの秋 田んぼは黄金色に染まり、稲刈りの季節を迎えます。
紅葉 山々や町内の木々が色づき、紅葉狩りを楽しめます。
過ごしやすい気候 暑さが落ち着き、涼しく快適な気候が続きます。

冬
12～3月

- 1 元日 初詣
7 へびの御年始
第2回 奇祭大儀引き
- 2 25 文殊大祭

積雪 このシーズンは雪がたっぷりと積もり、白銀の雪景色が広がります。
積雪量 一晩で50センチほど積もる日もあり、年によっては大人の背丈になることも。
寒さ 気温が低く、寒さの厳しい季節です。

会津美里町は12月から3月にかけて、たくさん雪が積もります。除雪はもちろんのこと、冬ならではの工夫と準備が欠かせません。雪国暮らしの心得と、寒い冬を快適に、安心して過ごすためのポイントなどをご紹介します。

除雪は自宅だけでなく、隣家への影響も考えながら行います。雪は重くなると体に負担がかかるため、作業の前には軽く準備体操を。



雪下ろし 屋根の雪下ろしは危険なため複数人で行います。大雪だと業者への依頼も必要に。
落雪防止 屋根のなだれ止めが有効ですが、積もった軒の雪は早めに落とします。できるだけ軒下には人がいないように気をつけます。
雪捨て 家の外に出すことで通行の妨けになったり、側溝を詰まらせないようにします。集落によって異なるため、近所ルールが基本に。
断熱対策 室内の熱が最も逃げやすい窓を二重サッシにしたり、断熱シートを貼るなどの対策で。断熱機能の高いカーテンが有効です。
暖房器具 ストープやファンヒーターが主力。窓際に置くことで室内の暖気が循環しやすくなります。
水道の凍結防止 外気温-5℃以下が長時間続くとき、水道管内の水が凍り破裂することがあります。屋外水道管には温熱ヒーターや保温材でくるむなどの対応を行います。
スノーブラシ 車体にも積もった雪を落とすアイテム。ガラスの霜取り用スクレパーが付く便利。
スタッドレスタイヤ 11月中旬頃に交換、例年3月中旬まで冬道運転の安全を守ります。
ワイパー ゴムの頑丈な冬専用ワイパーに交換。屋外駐車時には凍結防止にワイパーを立てる。
解氷スプレー 凍りついたフロントガラスの着氷を溶かします。ぬるめのお湯でもアリ。

外出時には寒さ対策が必須。重ね着と帽子や手袋、マフラーなどの防寒アイテムを用いて体温を逃さないように。
アウター 防水・防風仕様のダウンや中綿コートが定番。フード付だと更にヨシ！
長靴など 防水・保温性能はもちろん、凍った雪道でも滑りにくい冬用ブーツがおすすめ。
手袋 防水性能の中綿入りだと、長時間の雪かきでも指がかじかみにくい！

移住サポート、充実。

会津美里町への移住定住については、一般社団法人TORCH（トーチ）がご相談に対応していますので、ぜひご連絡ください。一人ひとりの立場や生活状況などに合わせて細かく対応します。私自身も移住者なので、お気軽にお声がけください。

- 町への移住を考えているが、なにから始めれば良いかわからない
- 移住先のくわしい地域情報がほしい
- 移住への支援制度があれば知りたい
- 移住についての悩みを相談したい など



移住のビフォー&アフターについて、私にご相談に対応します！

オンライン相談はこちら

教えて先輩！
みさと暮らしインタビュー



移住のきっかけは？

「洋史さん」祖母が会津に住んでいたため、小さいころから家族で訪れ、ふるさとのような存在でした。
「美紀さん」生まれも育ちも神奈川県ですが、東北へは旅行で良く訪れていたそうです。会津への移住は洋史さんのゆかりの地ということもあり、前向きに検討していました。

現在の仕事や働く環境

「美紀さん」空き家バンクにて購入した自宅を一部DIYにて工房へ改修し、引き続き作家活動を行い、新鶴ワイナリーでのイベントに出店したりしています。
「洋史さん」2024年4月より会津にて販売の仕事へ就職。畑仕事や陶芸作品の売店の手伝い等の両立を目指し働いています。

01 時間の流れをゆっくりと感じます
故郷のような会津へ移住して夢の平屋住まいを！



りだなと思いました。私たちの家は只見線の駅も近いので、その気になれば若松方面へ外出（呑みに）に行くこともできるので活用しながら楽しんでいます。犬の散歩で近所を歩き会津盆地を見渡せば思わず深呼吸をしたくなる景色が、四季や時間帯によって表情の違うその光景に、「豊か」とはこういうことなのかなとよく二人で話しています。

移住へのアドバイス

家を購入する場合やリフォームを組む場合は転職を伴うと審査が通りにくかったり等、注意が必要な場合も。どう改修するなどのかなりの費用がかかるなど、下調べはしっかりと行ったほうが確実。加えて使える補助金は確実に使い切った方がいいと思います。色々な方たちがきつと力を貸してくれます。もちろん私たちも。地域の行事



移住のきっかけは？

「祐志さん」地元である会津地方に移住を考え、工房として使える倉庫や畑付きの物件を探していました。そこで移住支援を行っている（一社）TORCHさんに協力をいただき本郷地域で今の物件が見つかったので移住を決断しました。

現在の仕事や働く環境

「祐志さん」移住が決定してから地域おこし協力隊の会津本郷焼技術継承者の募集を見つけ、もともと陶芸に興味があったのと副業がOKとのことだったので応募しました。今では生活のメインが陶芸になるほどのめり込み、来年の独立に向け自宅作業場を整備中です。
「江梨花さん」藍を使っている染色や作品づくりなどを行っています。藍を原

02 地域とのつながりに感謝しています
徳島から夫婦2人と猫3匹の移住



料の植物から育てたいので、畑の付いている物件を探しました。近所の方々も農家さんなので、色々たくさんお世話になっています。困ったときに質問できる環境が本当にありがたいです。まだ原料作りまでできる環境は整っていないので、少しずつ進歩していけたらいいと思っています。

現在の暮らしや住まい

倉庫を工房にしたり陶芸窯を設置させてもらったりと、大家さんがとても協力的で我々の活動を応援してくださっているので本当にありがたいです。近隣の皆さんもトラクターを貸してくれたり、使っていないビニールハウスを譲ってくれたり、野菜や山菜をおす分けしてくれたり仕事、生活面の方で助けてもらっています。



移住のきっかけは？

もともと東京で全国紙の写真記者として働き、趣味のパン作りも楽しんでいました。趣味を極めたくなって新聞記者を辞め、パン学校やパン屋勤務を経て自宅パン教室の講師になりました。東日本大震災後には同僚だった夫が被災地のフォトジャーナリストに転身。ともに福島県福島市へ移住しました。その後、田舎の古民家に住もうと会津地域一円をチェック。役場の親切さやいい物件があったことで、2019年に会津美里町へ移住しました。

現在の仕事や働く環境

移住した年には自宅に自家製天然酵母パン「いわなみ」を開業しました。定期的にパンを焼いて店頭販売するほか、SNSやHPからのご注文に

応じて商品を送っています。作っているパンには、地元産のブドウ由来の酵母を使用。ブドウやベリーなどの果物からは酵母が取れるため、うまく地元産品となつてくれることができました。

現在の暮らしや住まい

住まいは集落の中にある築100年以上の古民家。細かく手入れされていたのが良かったです。移る際に手を入れ、玄関脇にパン工房を設置しました。地域に溶け込めるか心配でしたが、幸いご近所に恵まれました。

この町ってどんなところ？

ほどよい田舎。家の周りは鳥のさえずりが響くばかりで本当に静か。冬は雪に埋もれて音はありません。（笑）でも、コンビニ、ドラッグスト

ア、スーパーへは車で5分。不便を感じたことはありません。自家製天然酵母パン屋店主ですが、ドーナツもファストフードもコーヒーも好きです。そんな時は車で隣の会津若松市へ行って都会（！）の風を感じてきます。

移住へのアドバイス

期限（いつまでに移住するぞ！など）を決めて土地選びや家探しをしたほうが、やる気も運もアップするような気がします。思わぬ掘り出し物が見つかることも。漠然としたイメージでもいいので、「交流推進係」の人に思いを伝えると、たくさん情報をくれます（私の場合はそうでした。交流推進係に相談にいったその日に車を

